

中医協「2010年度第2回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会」 2010/5/19 ドキソルピシン関連の診断群分類が出来高へ

診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会（分科会長：西岡清・横浜市立みなと赤十字病院名誉院長）は5月19日、高額薬剤の一つ、抗がん剤「ドキシル注20mg」（一般名：ドキソルピシン）に関連する卵巣がんの診断群分類（下記を参照）を当面、出来高算定とすることで合意した。次回中医協総会で了承され次第、適用される見込み。

DPCにおける高額薬剤の取り扱いについては、4月の中医協総会で、「現行の診断群分類は薬剤費が十分反映されていない」などの意見が上がったことから、分科会では前回に引き続き議題に。冒頭で、事務局が08年4月～10年3月に新たに薬価収載又は効能追加された19薬効の高額薬剤（次頁表を参照）について調査結果を報告。「ドキシル注20mg」のみ、他の薬剤に比べ使用の有無がコストに大きく影響していることを述べ、診断群分類の見直しは12年度改定で行うが、それまでは同薬剤を使用した場合の診断群分類を出来高とする案を示した。該当する診断群分類は5個で、「ドキシル注20mg」を使用しない場合も出来高とする。

案そのものは了承されたが、「がん化学療法は2～3日の入院で済む場合があり、今の診断群分類ではペイしない」「新しい薬は慎重に使うため、当初の入院期間は長くなる傾向にある。年次ごとに調査した上で分析を」などの意見が委員から相次ぎ、高額薬剤の取り扱いについては今後も継続して議論される。

出来高算定となる診断群分類

120010xx99x40x、120010xx99x41x、120010xx97x40x、120010xx97x41x、
120010xx01x4xx

様式1 患者住所地域の郵便番号を「必須」に

7月から始まるDPC調査を前に、病院側が提出する「様式1」の項目案がまとまった。

新規の必須項目として、「患者住所地域の郵便番号」や、「身長」「体重」「脳卒中の発症時期」などを設定。患者住所地域の郵便番号について、松田晋哉委員（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）は、「地域医療の評価や、地域医療指数の精緻化に活用できる」と提案し、他委員から賛同を得た。

また、現行の非必須項目に関しては、前回分科会の議論を踏まえ、廃止又は必須項目にする方向で精査。外保連コードが将来整備される「ICD9-CMコード」や、「がんのStage分類」「退院時GAF尺度」などの廃止が了承された。一方、「入院時のADLスコア」「退院時のADLスコア」「喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）」などは必須項目として残すことになった。

次回のDPC評価分科会は、6月23日開催の予定

【2008年4月～2010年3月の間に出来高算定とされた薬剤一覧】

	製品名称	一般名分類	効能・効果	薬価収載又は 効能追加年月日	2010年度改定 での対応
1	ネクサバール錠200mg	ソラフェニブチル酸塩	根治切除不能又は転移性の腎細胞がん	2008年4月	
2	スーテントカプセル12.5mg	スニチニブリンゴ酸塩	根治切除不能又は転移性の腎細胞がん イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍	2008年6月	(MDC11) (MDC06)
3	ゼヴァリン イットリウム(⁹⁰ Y) 静注用セット	イブリツモマブ チウキセタン 塩化イットリウム(⁹⁰ Y)	CD20陽性の再発又は難治性の下記疾患 低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫、マンテル細胞リンパ腫	2008年6月	
4	ゼヴァリン インジウム(¹¹¹ In) 静注用セット	イブリツモマブ チウキセタン 塩化インジウム(¹¹¹ In)	イブリツモマブ チウキセタン(遺伝子組換え)の集積部位の確認	2008年6月	
5	スロンノンHI注10mg/2ml /バスタンHI注10mg/2ml	アルガトロバン水和物	ヘパリン起因性血小板減少症 型における血栓症の発症抑制	2008年7月	
6	アービタックス注射液100mg/20ml	セツキシマブ	EGFR陽性の治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん	2008年9月	
7	サイモグロブリン点滴静注用25mg	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	中等症以上の再生不良性貧血 造血幹細胞移植の前治療 造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病	2008年9月	
8	マクゼン硝子体内注射用キット0.3mg/90µl	ペガブタニブナトリウム	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症	2008年9月	
9	献血グロベニン ニチャク 5g/100ml 献血グロベニン ニチャク 500mg/10ml 献血グロベニン ニチャク 2.5g/50ml	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)	2008年10月	
10	ボトックス注50 ボトックス注100	A型ボツリヌス毒素	小児脳性麻痺患者の下肢痙縮(2歳以上)に伴う尖足	2009年2月	
11	ルセンティス硝子体内注射液2.3mg/0.23mL	ラニズマブ(遺伝子組換え)	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症	2009年2月	
12	ゾレア皮下注用	オマリズマブ(遺伝子組換え)	既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治性の 気管支喘息	2009年2月	
13	ドキシル注20mg	ドキシソルピシン(リポソーム製剤)	がん化学療法後に増悪した卵巣がん	2009年4月	
14	ネクサバール錠200mg	ソラフェニブチル酸塩	切除不能な肝細胞がん	2009年5月	
15	アリムタ注射用100mg アリムタ注射用500mg	ベメトレキセドナトリウム水和物	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	2009年5月	
16	ヒュミラ皮下注40mg	アダリムマブ(遺伝子組換え)製剤	既存治療で効果不十分な尋常性乾癬及び関節症性乾癬	2010年1月	
17	レミケード点滴静注用100	インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤	既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 及び乾癬性紅皮症	2010年1月	
18	ジェムザール注射用200mg ジェムザール注射用1g	ゲムシタピン塩酸塩	手術不能又は再発乳がん	2010年2月	

23製品(1行目と14行目のネクサバール錠は同一製品)

計19薬効(2行目の を区別して計上)

分科会の資料をもとに作成

パターン : 新たな診断群分類を設定して評価...12薬剤
 パターン : 既存の診断群分類の中で評価...4薬剤
 パターン : 十分なデータが得られず、引き続き出来高算定...3薬剤